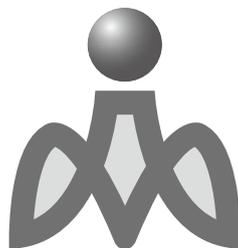


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔平成28年4月～6月実績〕
〔平成28年7月～9月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第1四半期 平成28年4月～6月期 「調査時点：平成28年6月1日」

3. 調 査 方 法

県下の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

①本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

②次頁【II】1. 産業全体の業況概観については、商工会調査企業だけではなく、他の本県経済団体調査企業（卸売業を含む）を含んだ286サンプルによるものである。

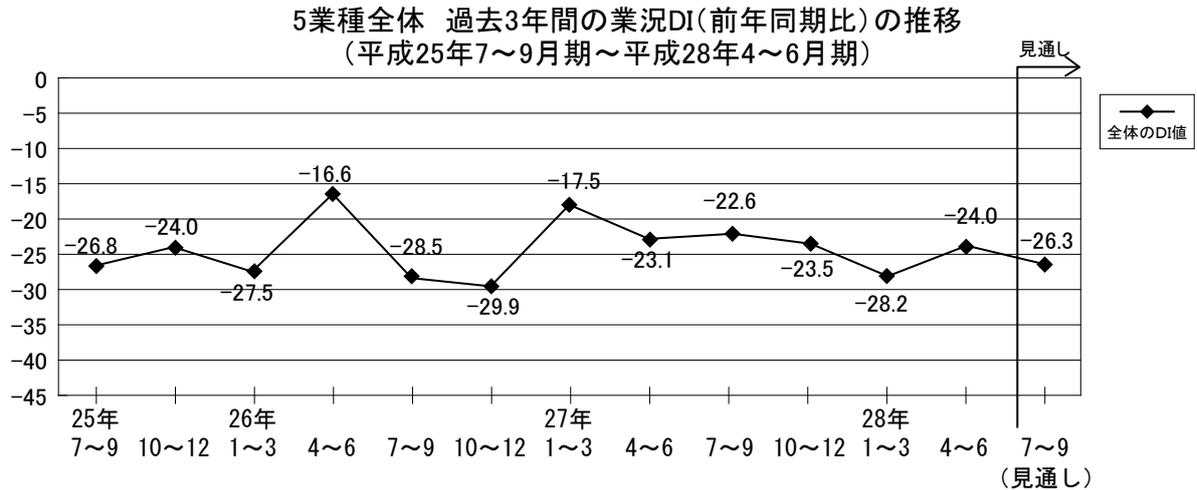
【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び産業別の業況判断DIについてみる。

まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。今期の業況判断DIは、▲24.0と前期比で4.2ポイント改善している。

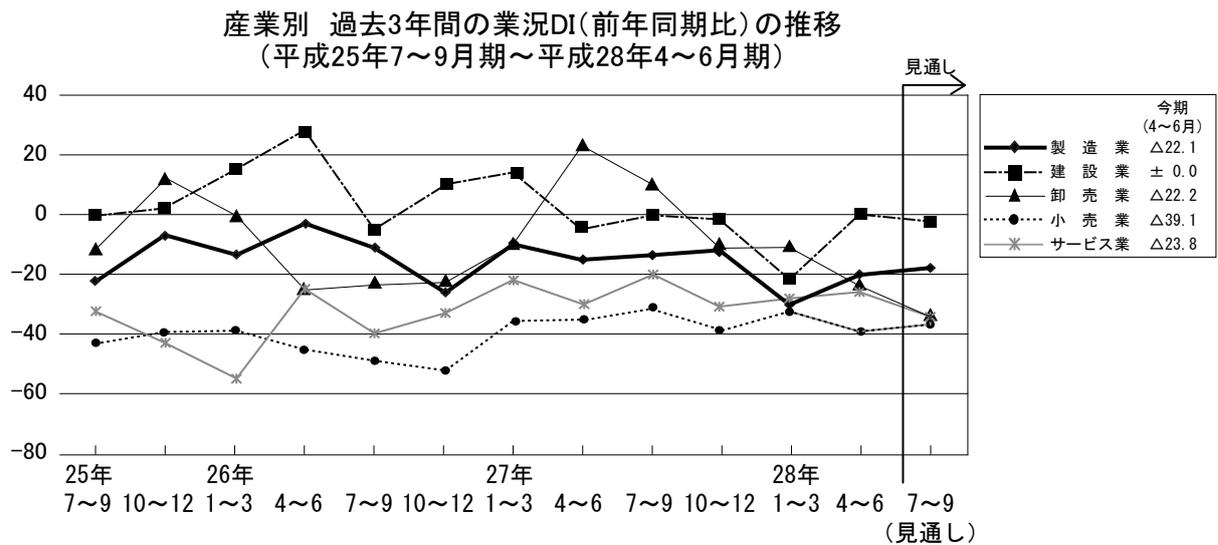
一方、来期については、▲26.3と悪化の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

製造業が▲22.1と前期比で7.9ポイント、建設業が±0.0と前期比で21.0ポイント、サービス業が▲23.8と前期比で4.8ポイント改善している。一方、卸売業が▲22.2と前期比で11.1ポイント、小売業が▲39.1と前期比で7.1ポイント悪化している。

来期は、製造業、小売業が改善見通しである一方、建設業、卸売業、サービス業が悪化見通しである。



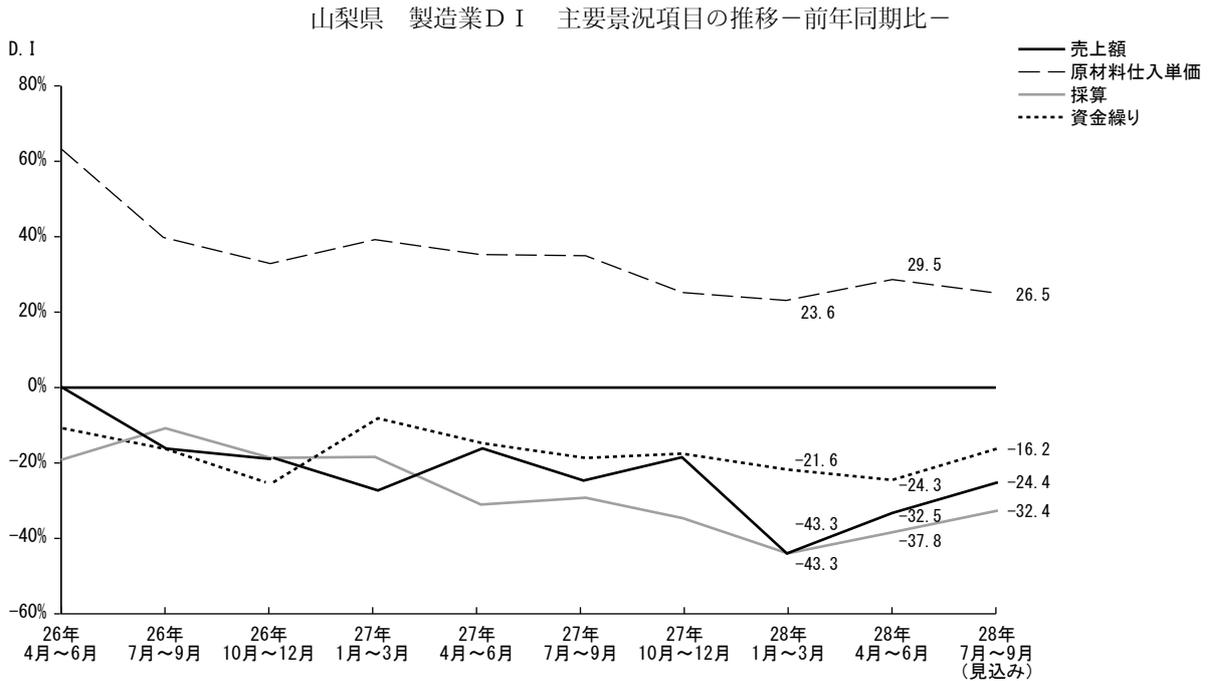
【注記】上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの121企業を含めた286サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況DIについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲32.5と前期比で10.8ポイント改善している。来期は▲24.4と更に改善する見通しである。原料仕入単価D Iは、今期は29.5と前期比で5.9ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は26.5と低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲37.8と前期比で5.5ポイント改善している。来期は▲32.4と更に改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲24.3と前期比で2.7ポイント悪化している。一方、来期は▲16.2と改善する見通しである。

今期は、原料仕入単価D I、資金繰りD Iが悪化したものの、来期は、全てのD Iが改善する見通しである。

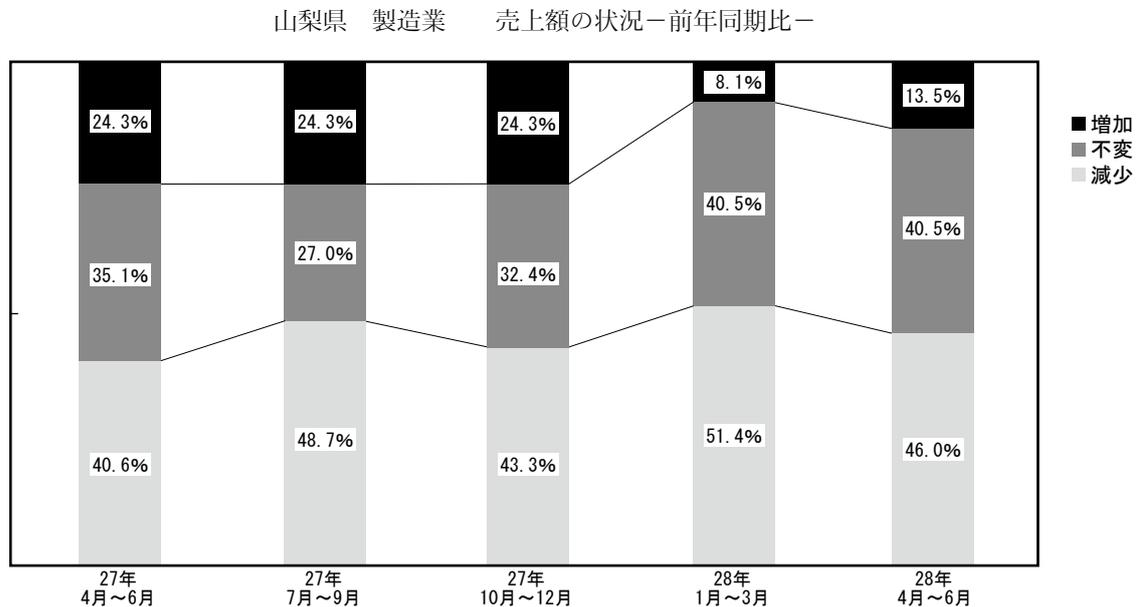


(2) 主な項目で見る業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、13.5%（5社）と増加（前期比+2社）している。

一方、「不変」は40.5%（15社）と横ばい（前期比±0社）、「減少」は46.0%（17社）と減している（前期比▲2社）。

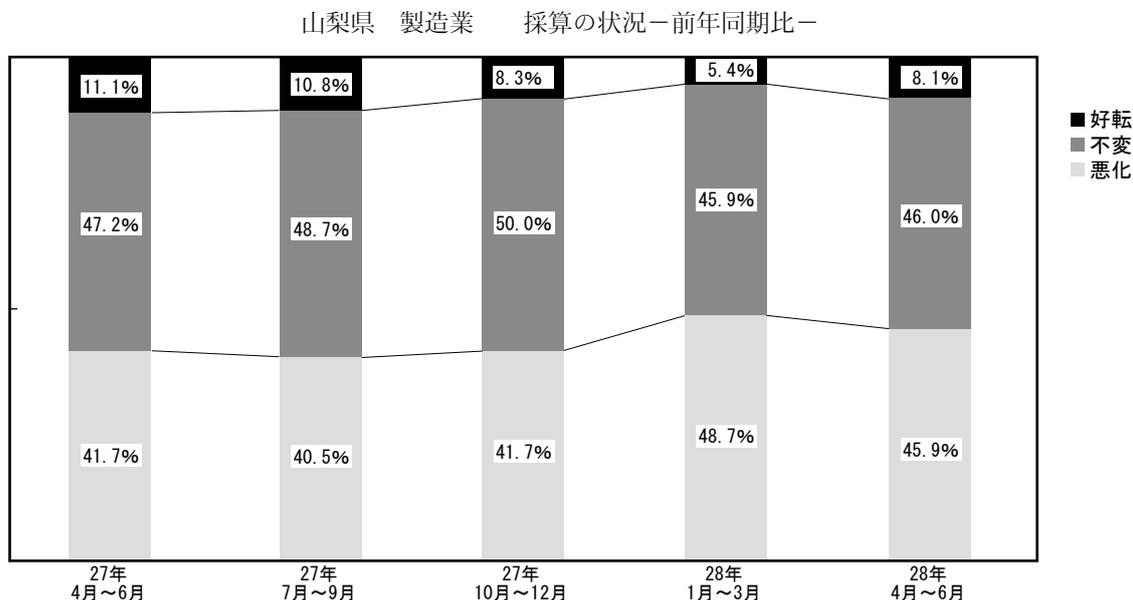


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 37 社）

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.1%（3 社）と増加している（前期比+1 社）。

「不変」は 46.0%（17 社）と横ばい（前期比±0 社）、「悪化」は 45.9%（17 社）と減少している（前期比▲1 社）。



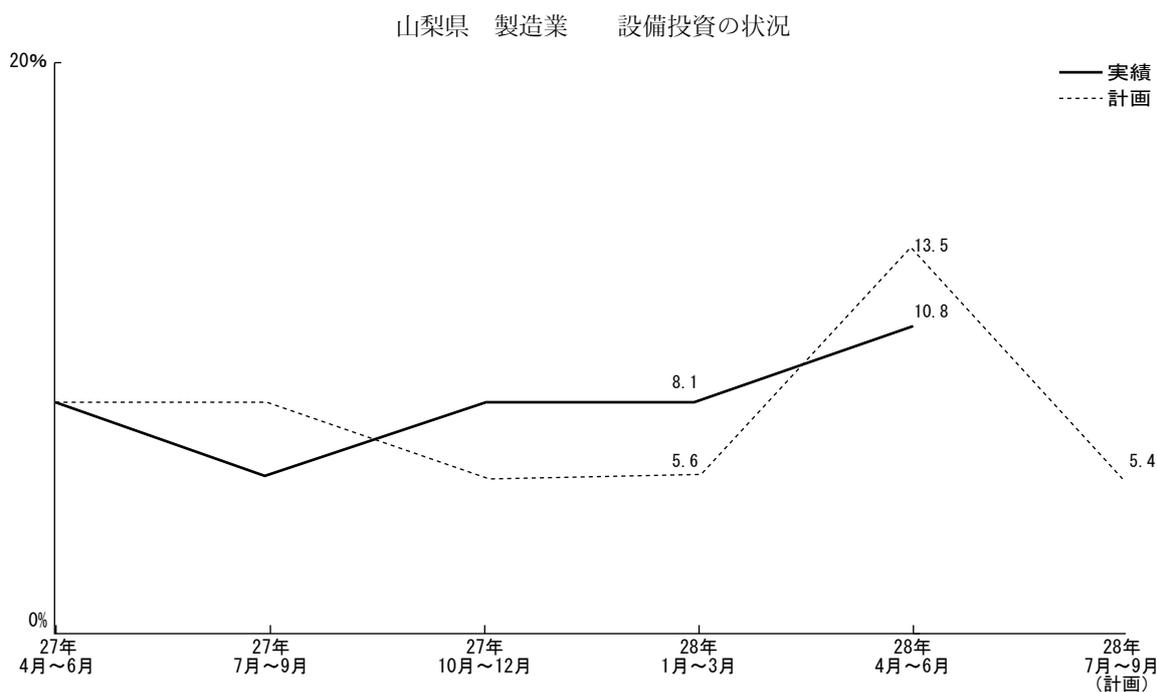
③ 設備投資（直近 1 年間における設備投資の状況（回答企業数 37 社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は 10.8%（4 社）であった（前期比+2.7 ポイント）。

その設備投資の内容は、「生産設備」が 2 件、「工場建物」、「車両・運搬具」、「付帯施設」、「OA 機器」が 1 件ずつであった。

来期の設備投資計画については、5.4%（2 社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「生産設備」が 2 件、「工場建物」が 1 件になる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 33 社）

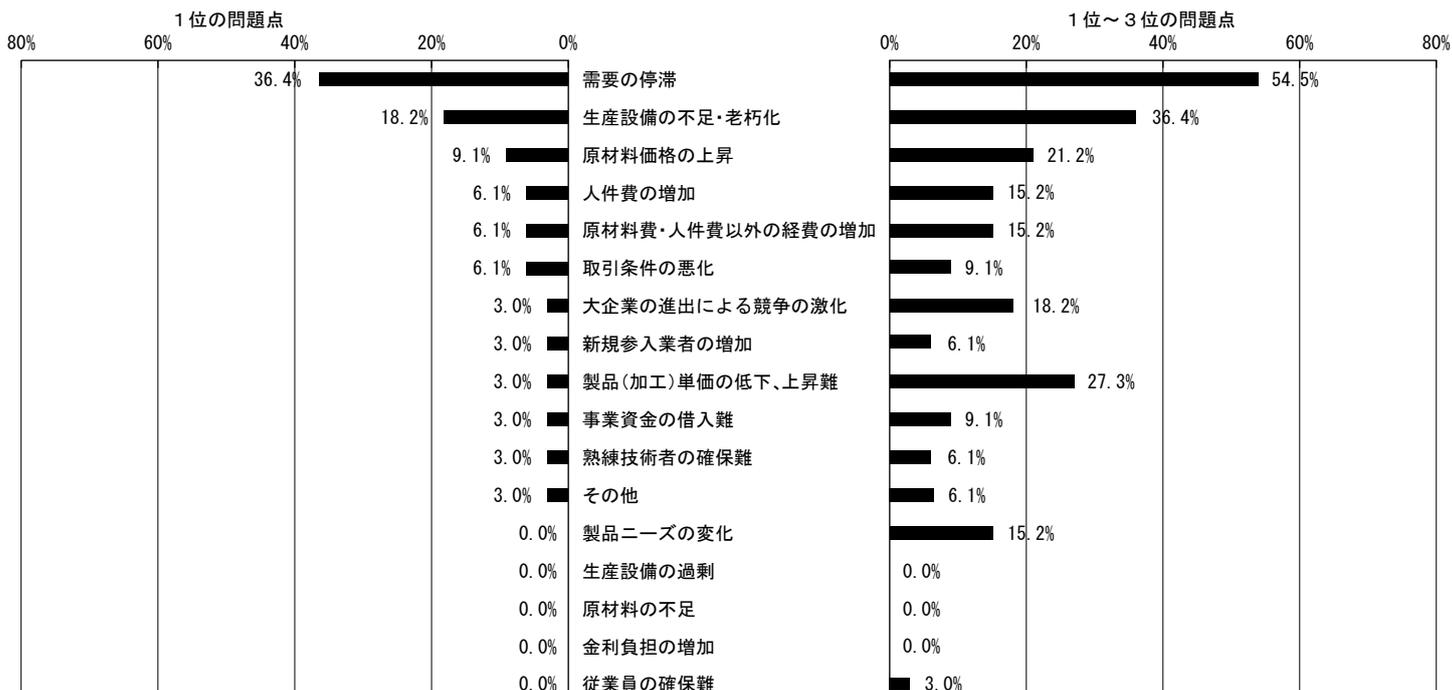
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 36.4%（12 社）であり、2 番目は、「生産設備の不足・老朽化」の 18.2%（6 社）である。そのあと、「原材料価格の上昇」の 9.1%（3 社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 54.5%（18 社）であり、2 番目は、「生産設備の不足・老朽化」の 36.4%（12 社）である。そのあと、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の 27.3%（9 社）が続く。

山梨県 製造業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業 種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.5
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	2	5.4
輸送用機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	6	16.2
合 計	37	100.0

従業員規模別

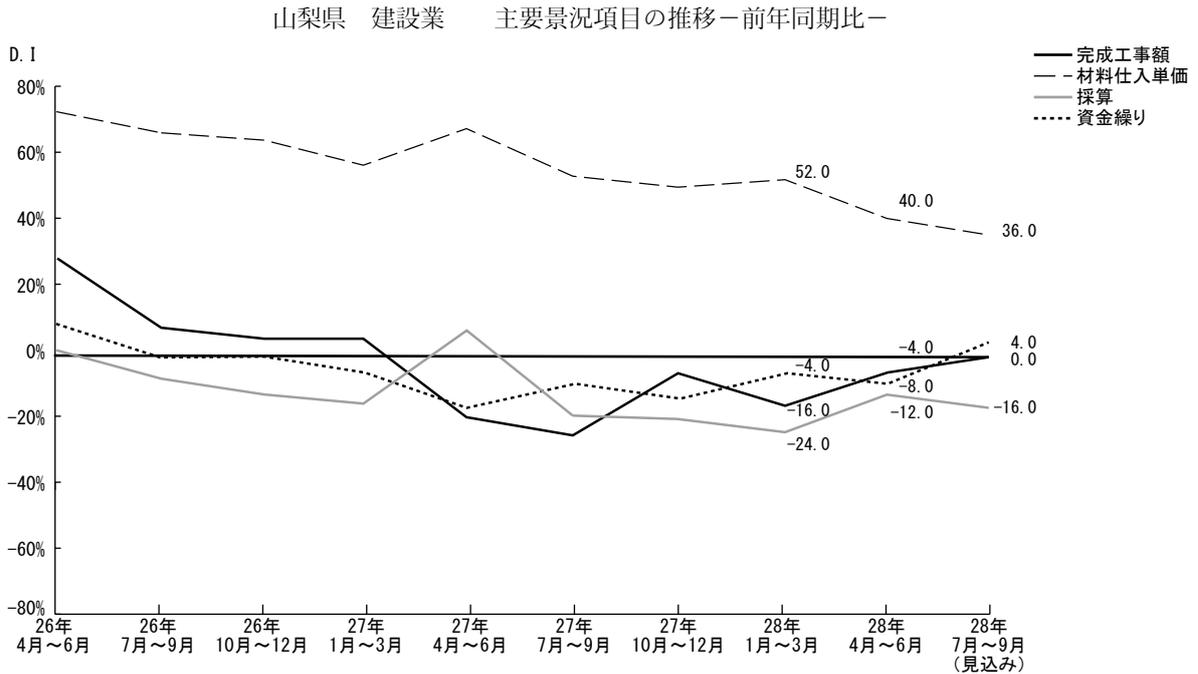
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常 雇	い	企業数	構成比(%)
2 人以下	24	64.9	20	54.1
3 人～5 人以下	5	13.5	5	13.5
6 人～10 人以下	4	10.8	7	18.9
11 人～20 人以下	4	10.8	5	13.5
合 計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は▲4.0と前期比で12.0ポイント改善している。来期は±0.0と更に改善する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は40.0と前期比で12.0ポイント低下（改善）している。来期は36.0と更に低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲12.0と前期比で12.0ポイント改善している。一方、来期は▲16.0と悪化する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲8.0と前期比で4.0ポイント悪化している。一方、来期は4.0と改善する見通しである。

今期は、資金繰りD Iを除く全てのD Iが改善している。来期は、採算D Iを除く全てのD Iが改善する見通しである。

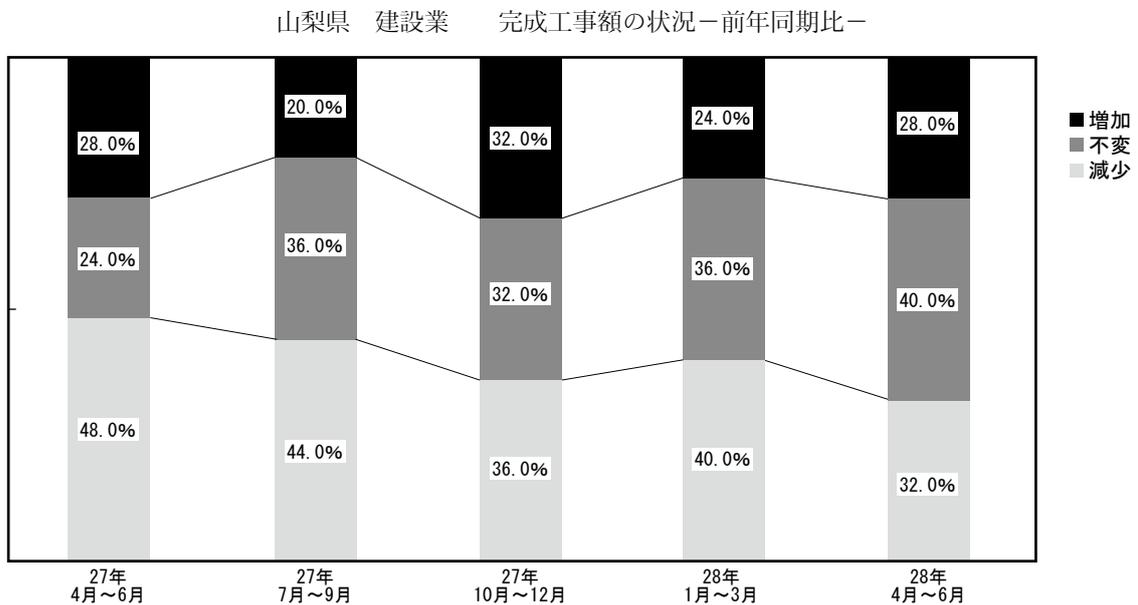


(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、28.0%（7社）と増加している（前期比+1社）。

「不変」は40.0%（10社）と増加し（前期比+1社）、「減少」は32.0%（8社）と減少している（前期比▲2社）。



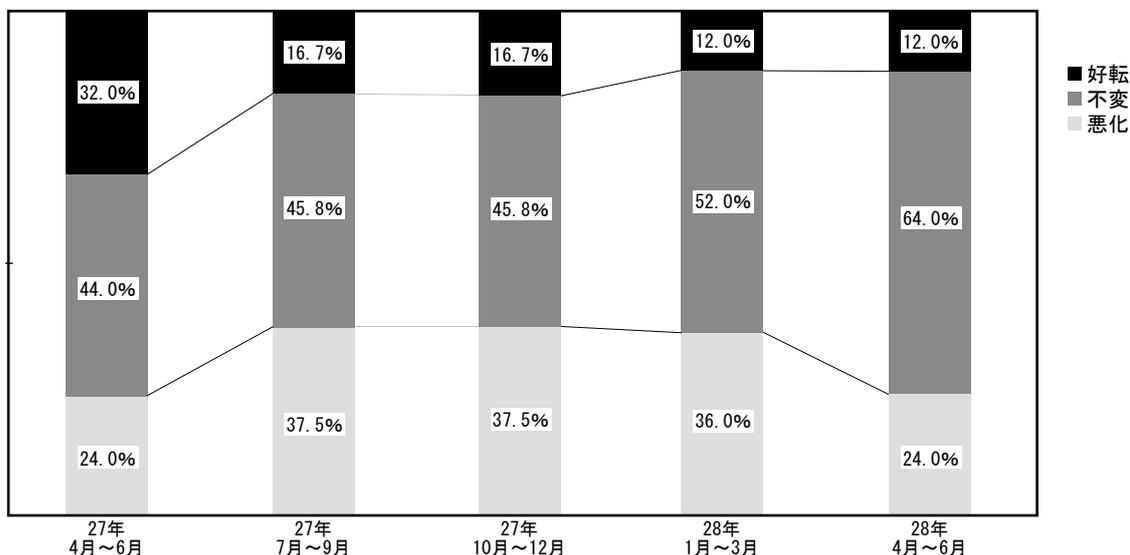
② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 25 社）

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（3 社）と横ばいである（前期比± 0 社）。

「不変」は 64.0%（16 社）と増加（前期比+ 3 社）し、「悪化」は 24.0%（6 社）と減少している（前期比▲ 3 社）。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－



③ 設備投資（直近 1 年間における設備投資の状況（回答企業数 25 社））

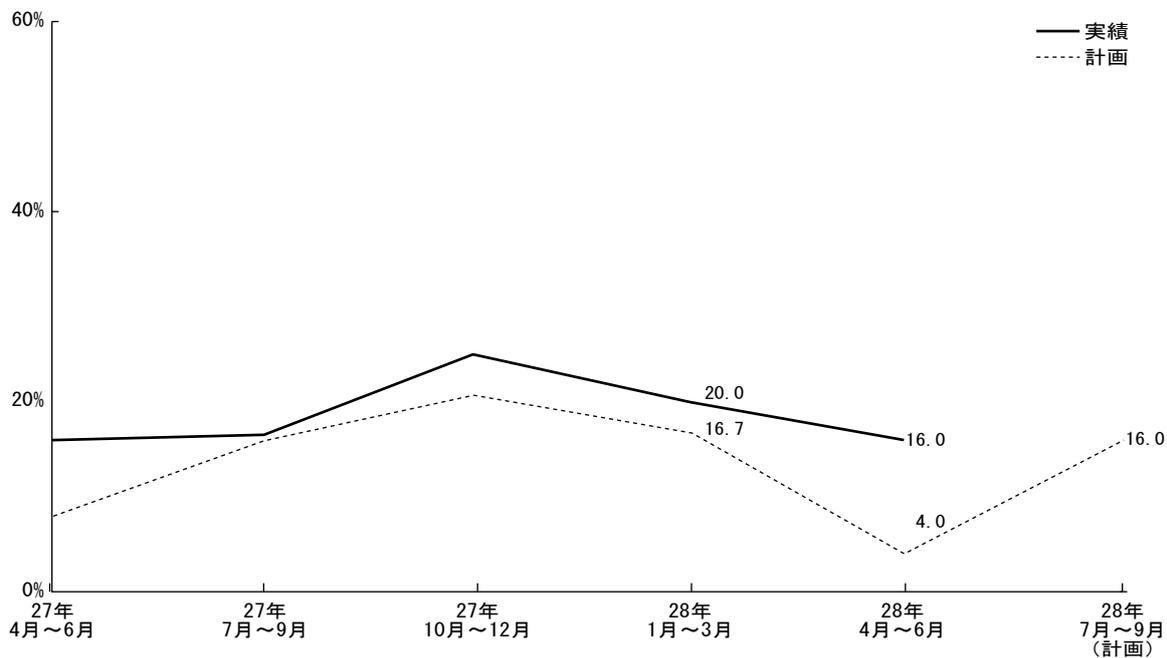
今期において、設備投資を行った企業の割合は 16.0%（4 社）であった（前期比▲ 4 ポイント）。

その設備投資の内容は、「土地」、「OA 機器」が 2 件ずつ、「建設機械」、「付帯施設」が 1 件ずつであった。

来期の計画については、16.0%（4 社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「車両運搬具」が 3 件、「建設機械」が 2 件になる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数 25 社）

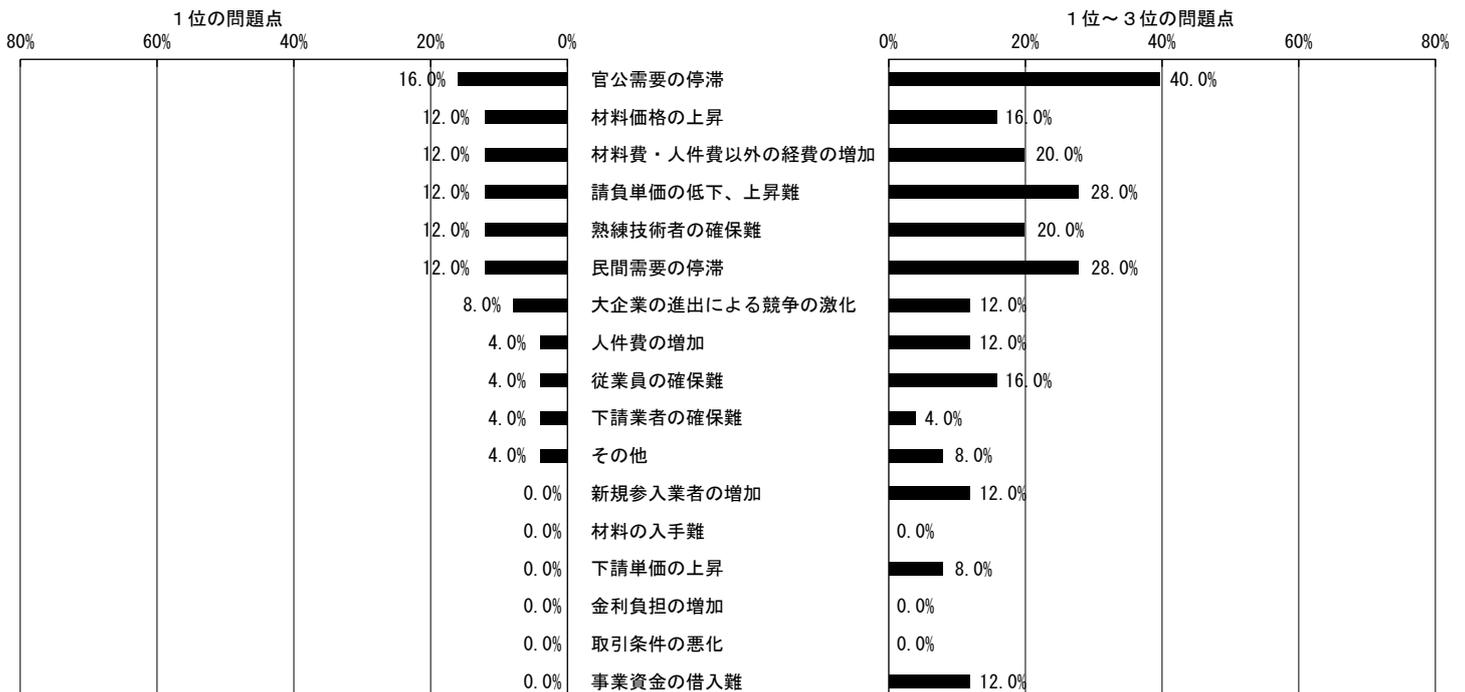
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「官公需の停滞」の16.0%（4社）であり、2番目に多かったのは、「材料価格の上昇」、「材料費・人件費以外の経費の増加」、「請負単価の低下、上昇難」、「熟練技術者の確保難」、「民間需要の停滞」の12.0%（3社）である。そのあと、「大企業の進出による競争の激化」の8.0%（2社）が続く。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「官公需の停滞」の40.0%（10社）であり、2番目に多かったのは、「請負単価の低下、上昇難」、「民間需要の停滞」の28.0%（7社）である。そのあと、「材料費・人件費以外の経費の増加」、「熟練技術者の確保難」の20.0%（5社）が続く。

山梨県 建設業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合計	25	100.0

従業員規模別

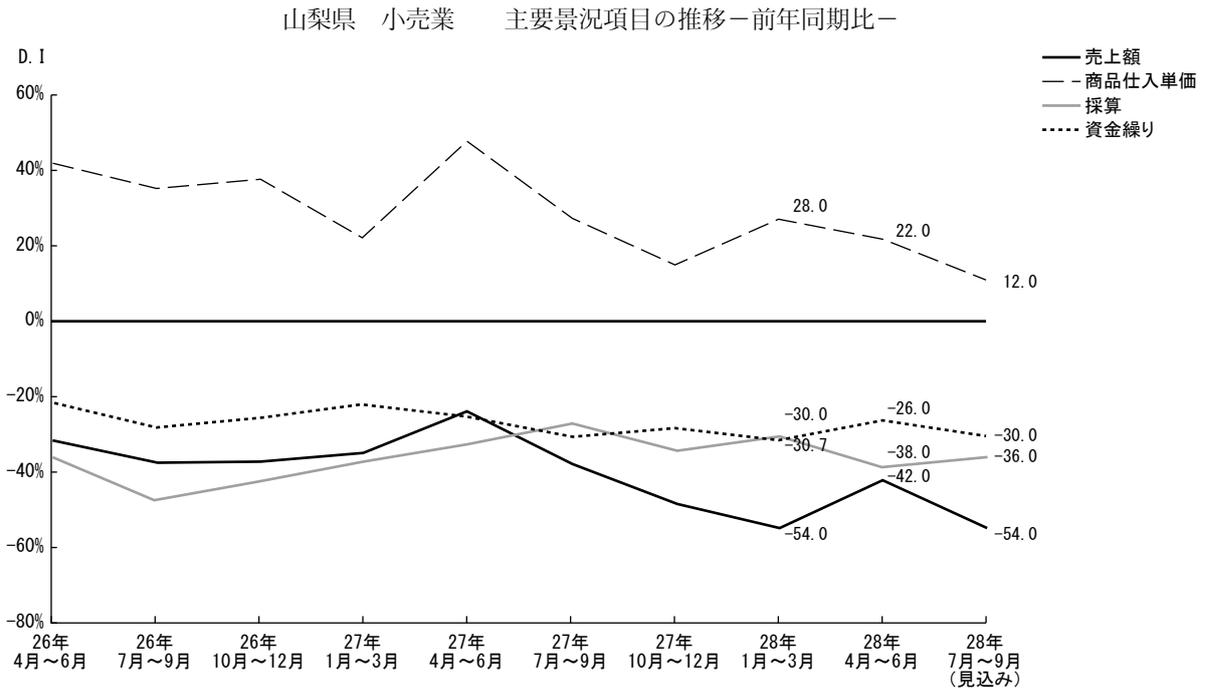
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇	い	企業数	構成比(%)
2人以下	10	40.0	8	32.0
3人～5人以下	6	24.0	7	28.0
6人～10人以下	4	16.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100.0	25	100.0

4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲42.0と前期比で12.0ポイント改善している。一方、来期は▲54.0と悪化する見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は22.0と前期比で6.0ポイント低下(改善)している。来期は12.0と更に低下(改善)する見通しである。採算D Iは、今期は▲38.0と前期比で8.0ポイント悪化している。一方、来期は▲30.0と改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲26.0と前期比で4.7ポイント改善している。一方、来期は▲30.0と悪化する見通しである。

今期は、採算D Iを除く全てのD Iで改善しているものの、来期は、売上額D I、及び、資金繰りD Iが悪化する見通しである。

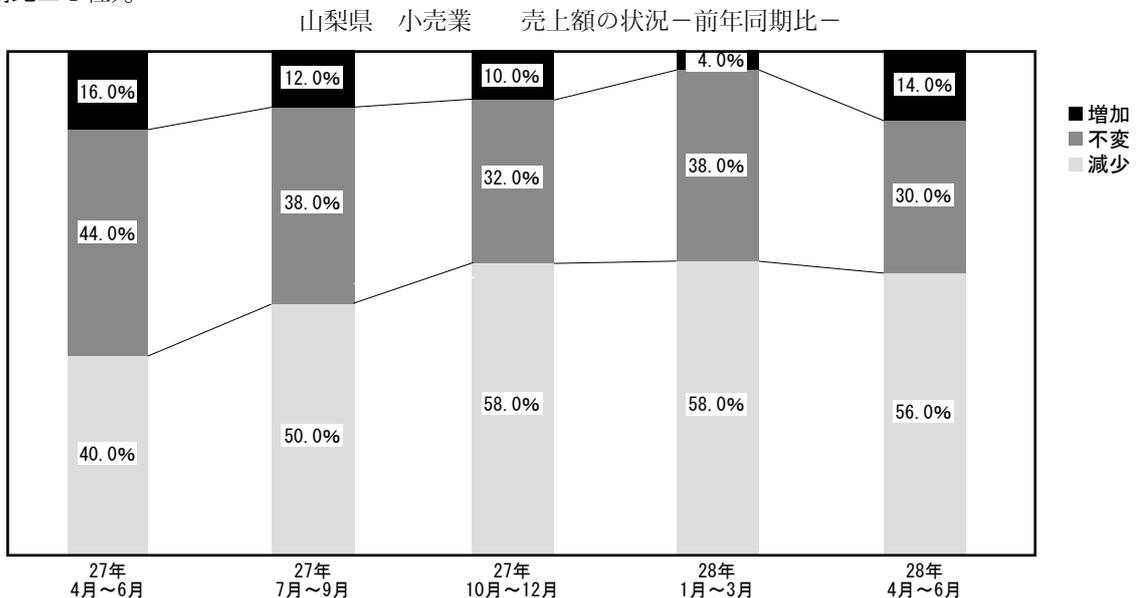


(2) 主な項目で見る業況

① 売上額 (売上額D Iの内容 (回答企業数 50社))

「増加」と答えた企業の割合は、14.0% (7社)と増加している (前期比+5社)。

「不変」は30.0% (15社)と減少し (前期比▲4社)、「減少」は56.0% (28社)と減少している (前期比▲1社)。

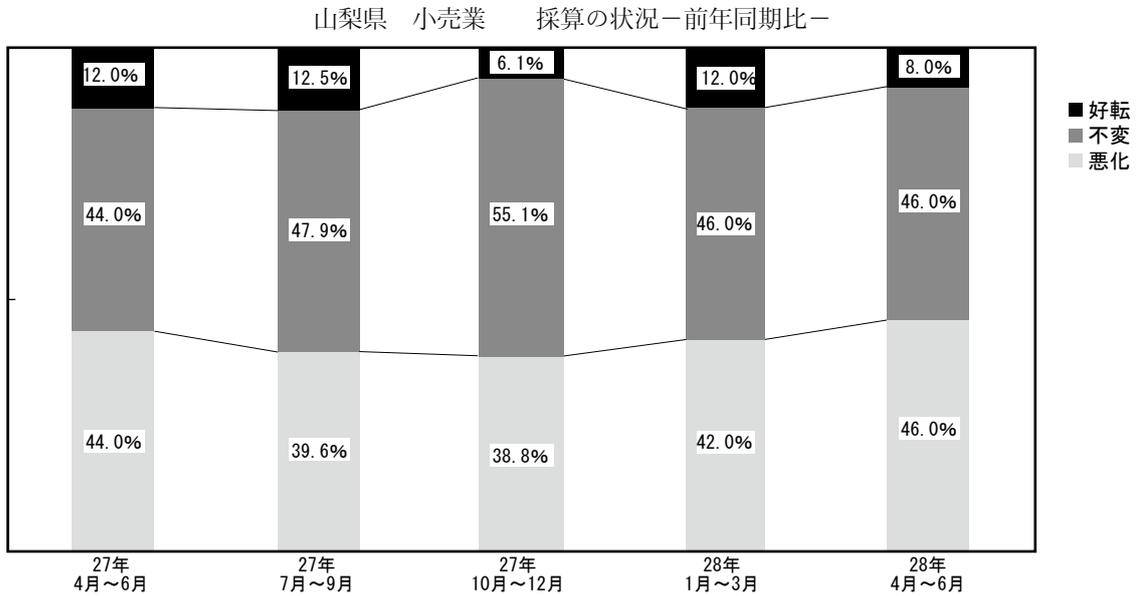


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 50 社）

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（4社）と減少している（前期比▲2社）。

「不変」は46.0%（23社）と横ばい、「悪化」は、46.0%（23社）と増加している（前期比+2社）。



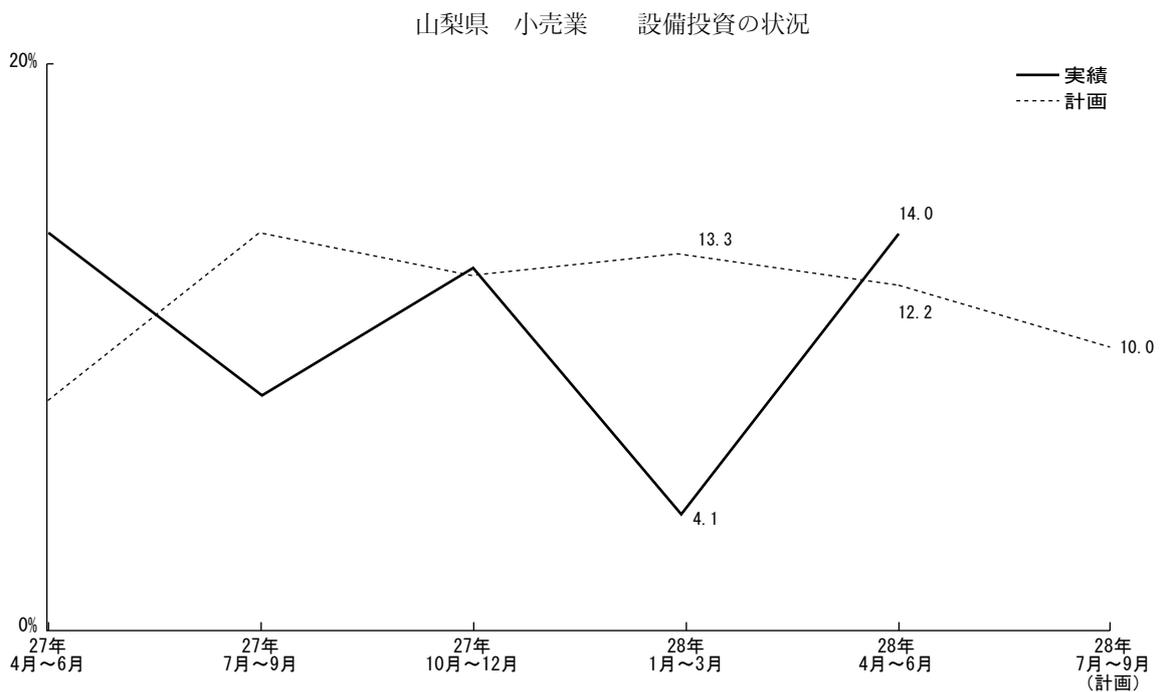
③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 50 社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は14.0%（7社）であった（前期比+9.9ポイント）。

その設備投資の内容は、「車両運搬具」が3件、「販売設備」が2件、「付帯施設」、「OA機器」、「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、10.0%（5社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「販売設備」、「車両運搬具」、「OA機器」が2件ずつ、「付帯施設」、「その他」が1件ずつになる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 48 社）

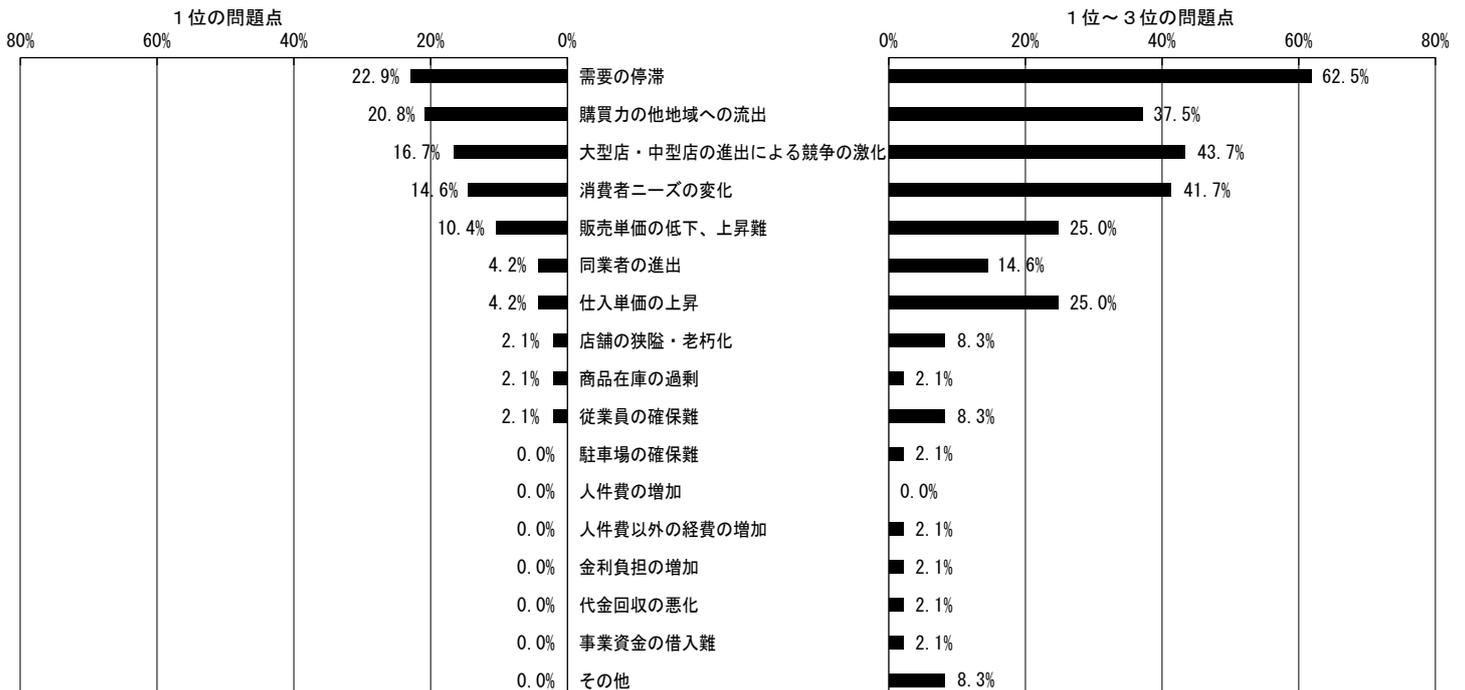
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 22.9%（11 社）であり、2 番目に多かったのは、「購買力の他地域への流出」の 20.8%（10 社）である。そのあと、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の 16.7%（8 社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 62.5%（30 社）であり、2 番目に多かったのは、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の 43.7%（21 社）である。そのあと、「消費者ニーズの変化」の 41.7%（20 社）が続く。

山梨県 小売業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	12	24.0
飲食料品小売業	16	32.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	16	32.0
合計	50	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)
2 人以下	46	92.0	40	80.0
3 人～5 人以下	4	8.0	10	20.0
6 人～10 人以下	0	0.0	0	0.0
11 人～20 人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

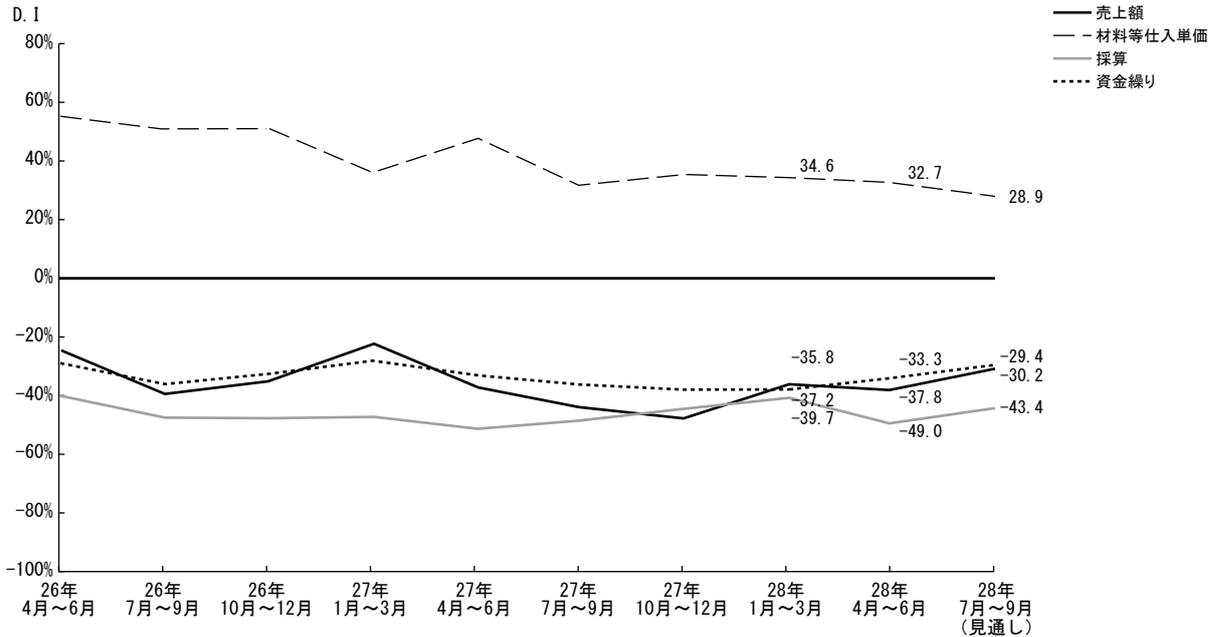
5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲37.8と前期比で2.0ポイント悪化している。一方、来期は▲30.2と改善する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は32.7と前期比で1.9ポイント低下(改善)している。来期は28.9と更に低下(改善)する見通しである。採算D Iは、今期は▲49.0と前期比で9.3ポイント悪化している。一方、来期は▲43.4と改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲33.3と前期比で3.9ポイント改善している。来期は▲29.4と更に改善する見通しである。

今期は、売上額D I、及び、採算D Iが悪化したものの、来期は、全てのD Iが改善する見通しである。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移—前年同期比—



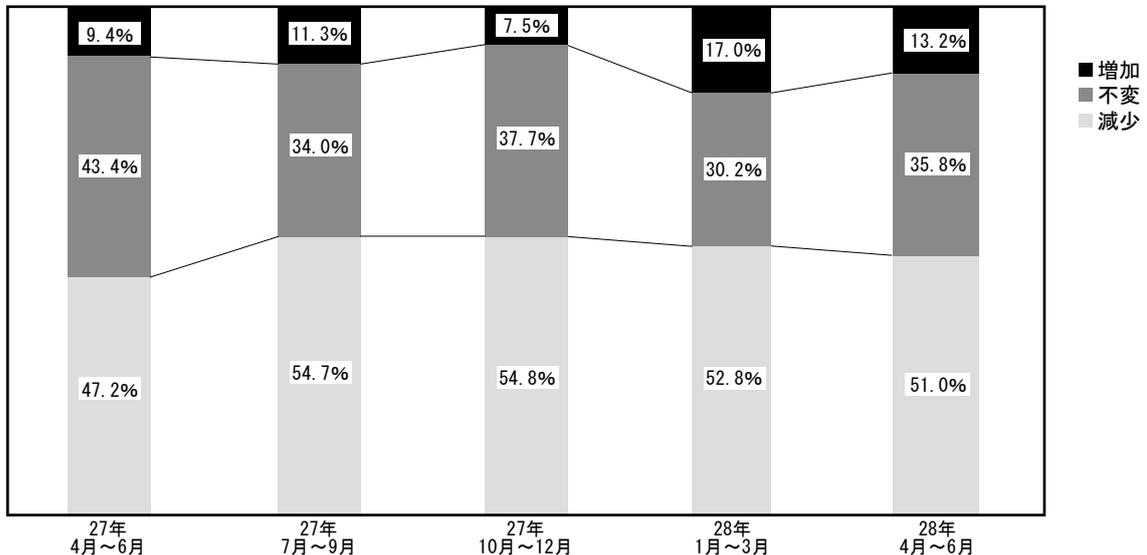
(2) 主な項目で見る業況

① 売上額 (売上額D Iの内容 (回答企業数 53社))

「増加」と答えた企業の割合は、13.2% (7社)と減少している (前期比▲2社)。

「不変」は35.8% (19社)と増加し (前期比+3社)、「減少」は51.0% (27社)と減少している (前期比▲1社)。

山梨県 サービス業 売上額の状況—前年同期比—

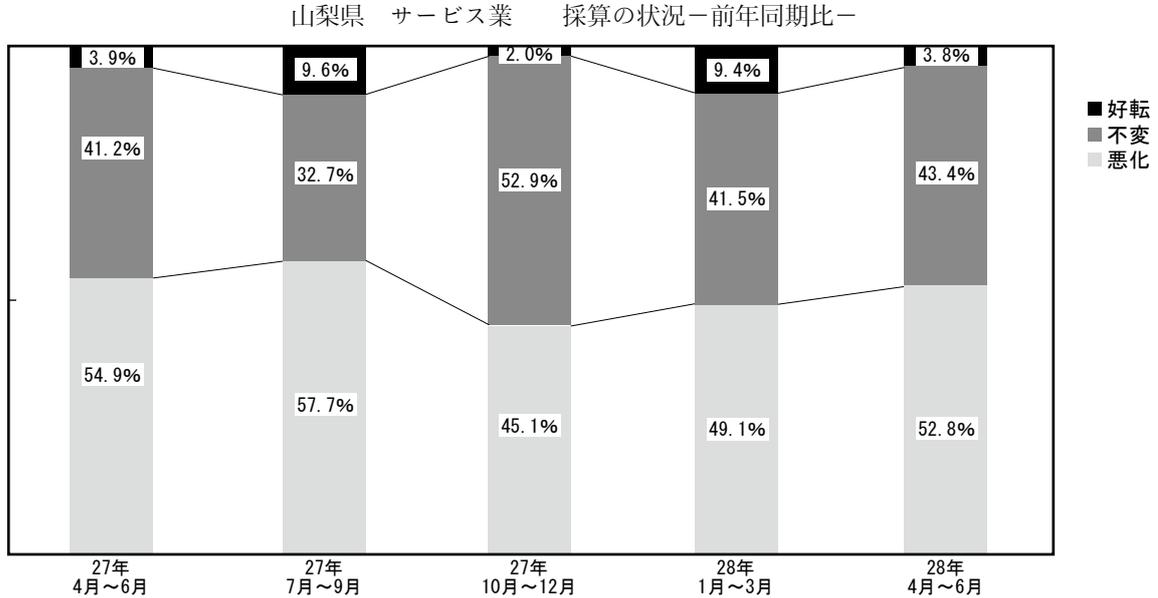


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 53社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、3.8%（2社）と減少している（前期比▲3社）。

「不変」は43.4%（23社）と増加し（前期比+1社）、「悪化」は52.8%（28社）と増加している（前期比+2社）。



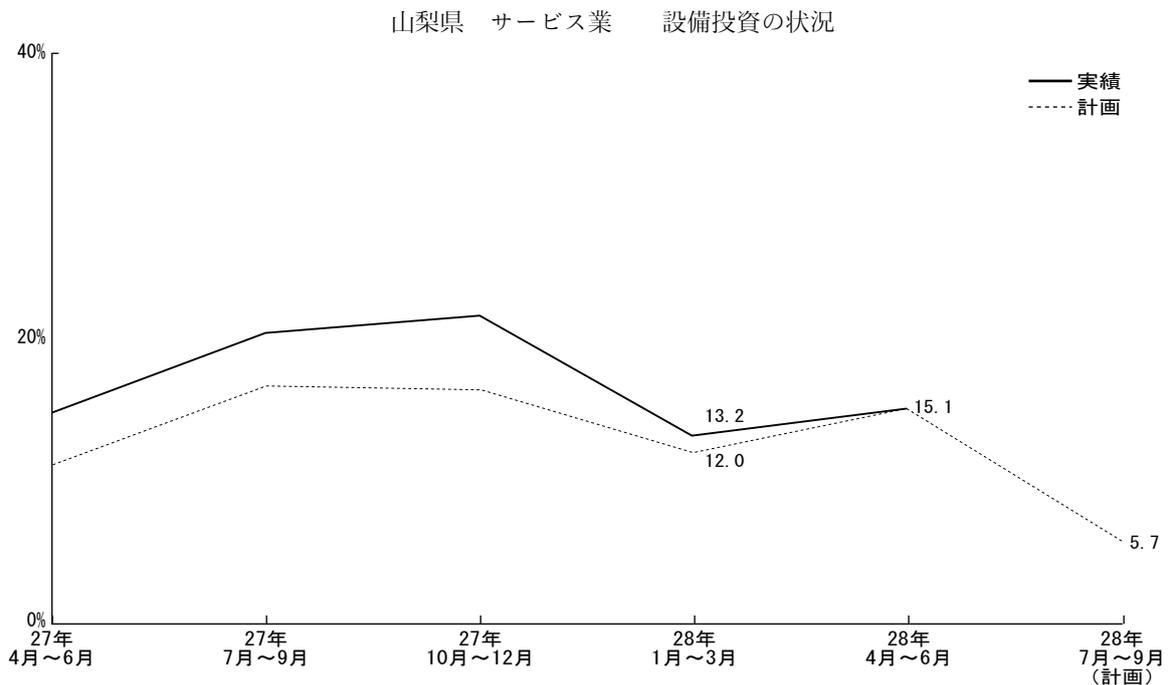
③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は15.1%（8社）であった（前期比+1.9ポイント）。

その設備投資の内容は、「車両運搬具」、「付帯施設」、「その他」が2件ずつ、「建物」、「サービス」、「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、5.7%（3社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「車両運搬具」が2件、「付帯設備」が1件になる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 48 社）

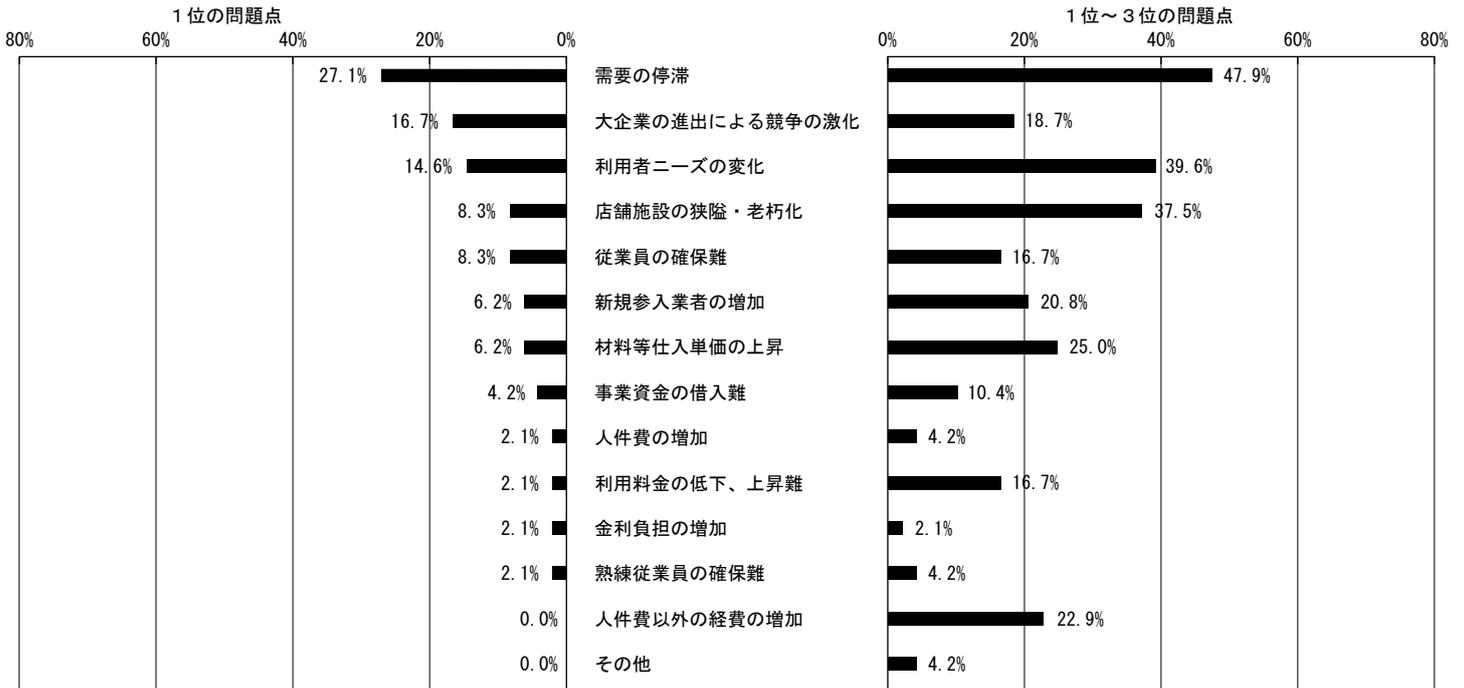
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 27.1%（13 社）であり、2 番目に多かったのは、「大企業の進出による競争の激化」の 16.7%（8 社）である。そのあと、「利用者ニーズの変化」の 14.6%（7 社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 47.9%（23 社）であり、2 番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の 39.6%（19 社）である。そのあと、「店舗施設の狭隘・老朽化」の 37.5%（18 社）が続く。

山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	20	37.7
宿泊業	8	15.1
運送業	2	3.8
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	16	30.2
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	企業数	構成比(%)
2 人以下	44	83.0	40	75.5
3 人～5 人以下	9	17.0	13	24.5
6 人～10 人以下	0	0.0	0	0.0
11 人～20 人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0